

講師：江夏 猛史（えなつ たけし）

NPO法人減災教育普及協会 理事長

協力：こども子育て防災アドバイザーグループ（広島ゆらし隊）



江夏 猛史

NPO法人 減災教育普及協会理事長
被災人づくりアドバイザー
日本大学 危機管理学研究所 研究協力員

これまでの防災を、減災の視点から見直してみよう。



リスクを起点に考える**減災の視点**は、命を守るだけでなく、子どもの主体性を育み、先生を支え、企業や社会の成長にもつながっていきます。今こそ**避難の質**を問うときです。



活動領域・実績

保育士・教師への実践的指導が中心「子どもを守り先生を支える」防災教育アップデート

講演・研修実績：2,000件以上、延べ参加人数：30,000人以上

主な対象者：保育・教育関係者、企業防災担当者、行政防災担当者、防災活動団体など



主な取り組み内容

防災意識向上・気づき・課題解決セミナー、ワークショップ、減災イベントの考案・開催

【防災指導】防災計画、避難訓練計画、防災マニュアル、BCP マニュアル等、既存の防災対策の評価・見直し、避難訓練 2.0 の推進、施設内リスクアセスメントなど



メディア取材・掲載実績

日本テレビ、テレビ朝日、NHK、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、J-WAVE、FM 横浜 他多数

子どもの命を守る新しい防災教育
(日テレ「news every.」)



減災紙芝居「がたぐら」



どこでも地震体験マット「YURETA」



こども園での事前学習

開発教材：減災紙芝居「がたぐら」

西暦的！正しい避難訓練に使える防災向け減災教育「がたぐら」が誕生。0% TIPS



小学校での体験学習

開発教材：どこでも地震体験マット「YURETA」

避難訓練の質を高める「避難の質」を高める災害想定力を身につける教育

「災害本番を考えられる訓練」



こどもユレタキャラバン

こどもユレタキャラバンとは？

「避難の質」を高める災害想定力を身につける教育

「災害本番を考えられる訓練」

① 従来の「型の訓練」から「被害を想定した訓練」へアップデート。

② 紙芝居などで事前学習し、YURETAで揺れを体験し、振り返りで学びを深める。

③ 日本大学危機管理学部と連携し、科学的根拠を確立。



こどもユレタキャラバン 3steps.

1



危ないを知る

地域や建物によって被害は大きく異なります。公的な想定や過去の被害状況、対策の実情などから、「**危険予測力**」の向上を目指します。

2



ゆれを体験する

想定される震度や被害をイメージしながら「ゆれ体験」を行うことで、認知力・判断力・行動力といった、「**危険回避力**」を身につけます。また、事前対策の重要性にも気づくことが出来ます。

3



誰かに教える

新たに得た気づきや学びを、身近な人と共有・発信することで、より学びを深め、「**共助の文化**」を醸成していきます。

申し込み方法

電話または申し込みフォームから

<https://forms.gle/dMeeekvF6smc6AXs7>

申込・問合せ：（公財）ひろしまこども夢財団

TEL 082-212-1007

（平日9：00～16：00）



申し込みフォーム

QRコードは
(株)デンソーウェーブの登録商標です